

自動運転バス新聞

2025年8月
発行所
真辺 一伊織

近くの上士幌町で自動運転バスが走っている。興味がありましたか？夏休みには大阪に走らせてみました。なぜ自動運転バスが注目されているのか、疑問に思ったので取材してみました。

実際に乗ってみた！



北海道 上士幌

- 小型バス
- 時速20kmまで
- 一部レベル4の完全自動運転車 (オペレーターが乗っている)



オペレーターさんが「ゲームのコントローラーのようなもので操作しててびっくり!!」

- AI車しょうがいて、案内してくれる



AI車しょうに話しかけたら、「おきよちゃんと呼んでください」と答えてくれて、楽しかったです。

- プレーキが普通のバスより急にかかる感じがしました。
- 国道に出るとき、他の車のスピードが速く、自動運転でも右折できなかったのかバグになりました。

● 小型バス

万博会場内をレベル4で運行。乗務員さんはいましたが「ハンドルに手をそえているだけで、ほとんど自動運転でおどろきました。」

前方のモニターで、3次元地図やセンサー、カメラからの情報を見ることができて、おもしろい!!

● 大型バス

● 市街地の路線バスでレベル2の自動運転

交通量が多く、きん急車両が過ったり、横断歩道ではないところが突然渡ったりして、自動運転には難しい場所だと思いました。

→ だからこそ、実証実験をして、データをとる意味があると実感しました。

信号情報をキャッチして、色が変わるまでの秒数をモニターで確認できました。

どうして自動で運転できるの？

自動運転は5つのレベルに分けられています。

- 5 完全自動運転
- 4 特定条件下での高度自動運転
- 3 特定条件下での自動運転
- 2 高度運転支援
- 1 運転支援

① 認知 カメラ、センサー、衛星通信

② 判断 AIが分析!

③ 操作 プレーキ、エンジン(モーター)、ステアリング

夏バテの雑草も同様です。

かなり先の将来を考えて、今から新しいことに取り組んでいるのがいいと思いました!

Q1 導入したき、かけは?

Q2 地域の高利い者はじめ、みなさんに便利に利用してもらおうことがねらいです。

Q3 課題はありますか?

雪山を障害物と認識して、合わす、バスが止まっています。

Q1 導入したき、かけは?

Q2 地域の高利い者はじめ、みなさんに便利に利用してもらおうことがねらいです。

Q3 課題はありますか?

雪山を障害物と認識して、合わす、バスが止まっています。

上士幌 インタビュー

2017年に北海道初の公道での実証実験をおこなうなど、早くから自動運転バスに取り組んでいた上士幌町。デジタル推進課の山崎さんに取材しました。

自動運転 ライトレスカを作ってみた!

センサーでラインを読み取って、そのライン通りに自動で走る車の工作に挑戦しました。電子工作やハンダ付けは難しく、最初作り終わ、た時は全く走りませんでした。何が原因が分からずあきらめそうになりました。でも、モーターの向きを変えたりいろいろ試して、やっと動くようになった時はとてもうれしかったです!!

実際の技術開発でも様々な課題に、はばり強く立ち向かっているんだとうな。

ライトレスカが走っているところを動画にしました!

大阪府内でも都市部や中山間部があり、課題が違います。だからそれぞれ実証実験をする意味があると分かりました!

Q1 導入したき、かけは?

Q2 地域の高利い者はじめ、みなさんに便利に利用してもらおうことがねらいです。

Q3 課題はありますか?

雪山を障害物と認識して、合わす、バスが止まっています。

Q1 導入したき、かけは?

Q2 地域の高利い者はじめ、みなさんに便利に利用してもらおうことがねらいです。

Q3 課題はありますか?

雪山を障害物と認識して、合わす、バスが止まっています。

大阪府 してみた!

大阪府の南河内地域で自動運転バスを取り入れる計画があり、大阪府・都市整備部の松原さんと松澤さんにお話をうかがいました。

① 技術的な問題

● 雑草や雪山を障害物と認識して止まってしまう。

● AI技術の活用

● 雪山を雪山と認識してよける機能

● 歩行者の動きを予測

● 交差点に死角があって危険

● スマートボールにカメラやセンサーをつけて、情報を事前に連けい

● 衛星通信の電波が弱いところがある

● 磁気マーカーを設置して、道路に特しなとらうでラインを引く

● 信号がかわると急ブレーキ・急発進

● 信号協調: 信号の情報を事前にキャッチ

未来 「好きな時」に「好きな手段」で移動できるのが理想

● AIオンデマンド交通 利用者のニーズに応じたいろいろな運行 自動運転タクシー

● 空とクルマ

● 編集後記

自動運転バスの実証実験は日本中でおこなわれていて、バラバラに見えませんが、実はいろいろな取り組みがなされています。

現在の法律では、自動運転にできない部分がある。無人運転が事故がおきたらだれが責任になるの?!

道路の改正が進んでいます。